大分県内の外国人福祉人材に関する最新の情報をお届けします!

今回は<mark>県内の障害福祉サービス事業所の中でいち早く外国人スタッフを受入れた社会福祉法人博愛会「第一博愛寮」で</mark>活躍する特定技能外国人、そして彼らを指導する日本人スタッフにインタビューしました。



(左から)ニュンさん、ゴックさん

2024年3月から、「第一博愛寮」で勤務する特定技能外国人のニュンさんとゴックさん。

お二人ともベトナム出身で、来日後は支援員として利用者さんの食事介助、トイレ介助、入浴介助、服薬介助等を担当しています。勤続期間がまだ短いですが、飲み込みが早いので、入職後すぐに夜勤ができました。また、介護記録の入力も行っています。

全面リノベーションした宿舎が事業所と同じ敷地内にあり、通勤時間はなんと徒歩で3分くらいです。事業所から支給された電動自転車に乗って買い物や日帰り旅行をしています。

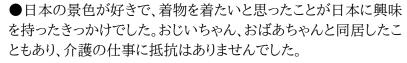


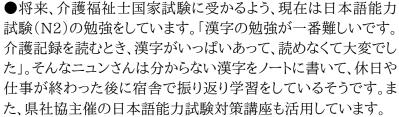
障害者支援施設 第一博愛寮

〒870-0868大分県大分市大字野田759-1 TEL:097-549-1321









- ●仕事で大変なことは、興奮した利用者さんへの対応です。「利用者さんが怒ったらちょっと大変ですが、利用者さんから声をかけられて、自分の日本語が通じたときは、とても嬉しいです。」ニュンさんは少しでも利用者さんと距離を縮められるよう、頑張って方言を覚えて喋っています。
- ●日本に来て、最初の頃は水洗トイレの流すところが見つからなくてすごく焦ったニュンさん。「登録支援機関に聞いたらすぐに分かったので、ホッとしました」と笑いながら話してくれました。
- ●入職してまだ1年半、分からないことはたくさんありますが、ニュンさんは、「一緒に働いている日本人の方が優しいし、仕事をいっぱい教えてくれます。何でも気軽に相談できる人が周りにいるので、安心して働けます」と感謝する日々を送っています。





ゴックさん

○日本の介護を学ぶために、再び来日したゴックさん。入職時点 で既に日本語能力試験(N2)に合格しており、現在は県社協主 催の実務者研修を受講しています。

○「実務者研修を受講して一番難しいのは専門用語です。辞書を 調べても分からない言葉が多いです」。辞書と生成AIを使って、 資格取得を目指し、勉強も仕事も頑張っているそうです。

○介護記録は自分で入力しています。日本人スタッフに内容を見 せて文法の確認をしてもらっています。朝のミーティング内容を聞 き取ることがまだ難しく、「隣の日本人スタッフにやさしい日本語 で説明してもらって、内容の理解を深めています」。周囲のサポー トが言葉の壁を乗り越える力になっているようです。

○「冬になると手足が冷えるので、職員が湯たんぽの使用をすす めてくれました。また、最近、水垢を取る洗剤も紹介してもらいまし た」とのことで、日本人スタッフと仕事以外の会話もできる関係を 築けています。

○アクティブな性格で趣味はサイクリングすること。電動自転車 で吉野梅園に2度も行ったそうです。「初めて来日した頃は京都、 大阪、東京、日光にも行きました。富士山も登りました」と言うほど 大の旅行好きで、「今後は北海道の雪まつりに行ってみたい」と話 していました。

○「介護は人の役に立つ仕事です。ご利用者のお体と気持ちを大 切に、やさしい心で介助していきたい」と今後の抱負を語ってくれ ました。

日本人スタッフに聞きました!

■ニュンさん・ゴックさんを受け入れてどうでしたか?

相馬さん:

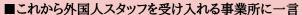
受け入れ前は不安もありましたが、二人ともとてもまじめで礼儀正しく、日々安心して 任せられています。健康面でも自分で病院に行くなどしっかりしています。利用者さ んとの会話も上手で、方言を交えて笑い合う姿を見ると本当にうれしく感じます。受け 入れて本当によかったと感じています。

■ふたりへ指導するときに気を付けていることは?

後藤さん:

専門用語の意味をやさしい日本語で伝えるようにしています。

2人の顔色や表情を観察して理解度を確かめるほか、分からないことを分かるまで 質問する2人なので、聞かれたときにしっかり説明するように気を付けています。



外国人スタッフと共に働くことで、私たちは日々、多くの学びと力をもらっています。文化 や習慣の違いを理解し合うことで、職場に新しい風と視点が生まれました。

10月からはインドネシア出身の実習生2名が新たに仲間入りし、さらに多様で活気ある チームになっています。

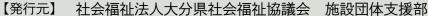


外国人の受入を検討している事業所が障害分野でも増えています。

外国人スタッフを受け入れている障害福祉サービス事業所の経験談やリアルな話を聞きたいという ご要望に応じて、受入の経験や制度説明を行い、疑問の解消ができるアドバイザーを募集予定です。

障害福祉サービス事業所の外国人受入促進に向けご協力いただける方、ぜひアドバイザー登録をお願いします。 アドバイザー公募の知らせは、後日、本会のHPに公表する予定です。

たくさんのご応募をお待ちしております。





097-558-0319

shisetsu@oitakensyakyo.jp



▲HP二次元コード



(後部左から)後藤さん・相馬さん

〒870-0907 大分市大津町2丁目1番41号 大分県総合社会福祉会館2階



https://gaikoku-jinzai.oitakensyakyo.jp/

